外国語科目・生涯スポーツ科目の履修にあたって
＜科目概要・履修のガイドライン＞

・近畿大学の教養教育の目的と目標

・近畿大学外国語教育の目的と共通基本目標

・英語履修案内、履修のガイドライン

・第二外国語教育の共通基本目標

・第二外国語について

・第二外国語履修フローチャート、履修ガイドライン

・近畿大学の「生涯スポーツ 1・2」について

近畿大学の教養教育の目的と目標

前 文

近畿大学の建学の精神は、未来志向の「実学教育」と「人格の陶冶」にあり、教育の理念である「人に愛される人、信頼される人、尊敬される人」を育成することを教育の目的としている。この建学の精神に基づき、社会の発展に貢献できる有為な人材を育成するために、教育の中核に教養教育と専門教育を据え、それを通して総合的な教育を行うところに、本学の教育の特色がある。

さらに、近畿大学は、「世の中にないものを創り、生み出す」ことを社会的使命と任じ、新たな地平の開拓へ果敢に挑戦する人材を育成する。このような観点に立脚し、近畿大学の教養教育の目的を次のように謳うものである。

目 的

「近畿大学の教養教育は、幅広い知識と深い洞察力を培い、豊かな人間関係と確かな主体性を確立することを目的とする」

この目的の達成のために以下の目標をおく。

1. 個人の自由と平等を尊重し、社会において担うべき責任を理解し、公正に判断する能力を養う。
2. 日本文化と外国文化の理解を通じ、国際感覚を高め、相互の個性を尊重し、信頼し合う精神を養う。
3. 課題設定と問題解決の能力を高め、課題に積極的に挑戦する意欲を養う。
4. 健康な精神と肉体を培うとともに、趣味の涵養を通して豊かな人間性を養う。
5. 国際社会に対応できる英語をはじめとする外国語によるコミュニケーション能力を養う。
6. 総合的な視野から専門分野を理解し、その研究に必要な基礎知識を養う。

科目群は、上記目標に対応させて以下のとおりとする。

① 人間性・社会性科目群（個人の尊重・社会的責任の認識）
② 地域性・国際性科目群（国際的感覚の育成）
③ 課題設定・問題解決科目群（課題設定・解決能力の育成）
④ スポーツ・表現活動科目群（スポーツ・表現活動を通した人間性の育成）
⑤ 外国語科目群（外国語によるコミュニケーション能力の育成）
⑥ 専門基礎科目群

近畿大学外国語教育の目的と共通基本目標

―経済学部英語教育理念―

国際化・情報化が高度に発展した現代社会において、国際共通語としての英語の果たす役割はますます大きくなってきている。それに伴い、聞く・話すといった口頭でのコミュニケーションはもちろん、オンラインなどで文章を読む・書くという機会が増すことは間違いない。21 世紀のグローバル社会において、国際共通語としての英語を使いこなせるようになるためには、世界の多様な文化を理解し、広く普遍的な視野を持ち、真の実践的コミュニケーション能力を高めることが必要である。経済学部では、このような視点から、学生がグローバル社会で活躍できるような英語力を身につけることを目指す。

目　的

近畿大学の外国語教育は、国際社会に対応できる英語をはじめとする外国語によるコミュニケーション能力を養うとともに、日本文化と外国文化の理解を通じ、国際感覚を高め、相互の個性を尊重し、信頼し合う精神を養うことを目的とする。

共通目標

上記の目的を達成するために英語と第二外国語それぞれの全学共通の基本目標をおく。

英語履修案内

英語学習の目的と指導目標

国際化、情報化が急速に進展する今日、国際語としての英語の果たす役割は、ますます重要なものになってきています。今後、聞く、話すといった英語によるコミュニケーションの機会はもちろん、インターネット、Ｅメールなどで読む、書くといった英語を使う機会が一段と増加することは間違いありません。２１世紀のグローバル社会において、国際語としての英語を使いこなせるようになるためには、世界の多様な文化を理解し、広く普遍的な視野を持つことによって、真の実践的コミュニケーション能力を高めることが必要です。

経済学部では、このような視点から、学生がグローバル社会で活躍できるような英語力を身につけることを目指し、次のような指導目標を設定しています。

①英語力の基本は単語、文法、発音である。「聞く」「話す」「読む」「書く」の４技能の能力を高めるために、基礎的な単語、文法に習熟し、聞く人が理解可能な発音を身につける。

②情報化時代に対応するため、さまざまな情報を正確かつ迅速に読み取り、読み取った情報を処理する能力を養う。「英語を学ぶ」という段階から「英語で学ぶ」という段階への脱皮が必要である。

③国際化時代に対応するため、情報を伝達したり、自分の意見や気持ちを表現したりすることができる発信型コミュニケーション能力を養う。「英語を学ぶ」ことから「英語を使う」ことへと発想を転換することが必要である。

④経済学部の専門性を視野に入れ、将来必要とされる「英語による専門文献や情報を理解したうえでそれを活用し、レポートを作成したり、プレゼンテーションをしたりする能力」の基礎となる力を身につけることを目指す。

⑤TOEIC や TOEFL などの英語能力検定試験において、就職活動をするとき、留学をするときなどに要求される高いスコアを取得できる英語力を身につける。

以上のような能力や技能を養成するために、まず、基幹科目として４種類の英語科目、ネイティブスピーカーによるオーラルイングリッシュを開講しています。これらの科目では、学生は習熟度に応じたクラスで受講することができます。さらに、発展科目として、TOEIC、自己表現の英作文、ニュース英語、カルチャー英語、を始めとする多様な科目を開講しています。これらの科目では、学生はそれぞれのレベルに応じた科目を受講できるようにしています。

さらに、経済学部には学部所属の英語の専任教員がいるので、学生が研究室を気軽に訪ねて、英語学習に関する相談がいつでもできる環境が整っています。

以上のように、学生のニーズに応え、学生の学力に応じて英語力を高めるシステムが工夫されています。目標を持って英語学習に取り組み、卒業までに英語力を大いに伸ばしてください。

履修のガイドライン

（ 現在～平成 26 年入学生用 ）

	科　目　名	学年	履 修 条 件 等
基幹科目	英語 １Ｌ・２Ｌ 英語 １Ｒ・２Ｒ	1 1	Ｌはリスニング重視 Ｒはリーディング重視
	英語 ３Ｔ・４Ｔ 英語 ３Ｒ・４Ｒ	2 2	ＴはＴＯＥＩＣ重視 Ｒはリーディング重視
	オーラルイングリッシュ １ オーラルイングリッシュ ２	1 1	ネイティブ教員担当科目
	オーラルイングリッシュ ３ オーラルイングリッシュ ４	2 2	ネイティブ教員担当科目
発展科目	総合英語 １ 総合英語 ２	3 3	Ｌクラスの者
	ＴＯＥＩＣ １ ＴＯＥＩＣ ２	3 3	Ｌ・Ｍ・Ｈクラスの者
	自己表現の英作文 １ 自己表現の英作文 ２	3 3	Ｌ・Ｍ・Ｈクラスの者
	ニュース英語 １ ニュース英語 ２	3 3	Ｌ・Ｍ・Ｈクラスの者
	カルチャー英語 １ カルチャー英語 ２	3 3	ＭクラスとＨクラスの者
	スーパー英語（ＴＯＥＩＣ） １ スーパー英語 （ＴＯＥＩＣ）２	3 3	HS クラスの者
	スーパー英語（ＳＫＩＬＬＳ） １ スーパー英語（ＳＫＩＬＬＳ） ２	3 3	HS クラスの者
	ｱﾄﾞﾊﾞﾝｽﾄｵｰﾗﾙｲﾝｸﾞﾘｯｼｭ１ ｱﾄﾞﾊﾞﾝｽﾄｵｰﾗﾙｲﾝｸﾞﾘｯｼｭ２	3 3	HS クラスの者

注１：発展科目の履修は、上記の履修条件を満たしている者に限る。
注２：特に優れた語学力を持っている学生（例えば帰国子女、TOEIC 600 点以上取得者等）は、１年次から発展科目を履修できるものとする。
注３：発展科目は、前年度 12 月の経済学部主催の TOEIC IP テストの取得スコアによるグループ分けおよびクラス分けが行われる。結果は 4 月に掲示、または文書配布によって通知されるので、各自のスコアに該当するレベルの科目のなかから受講

を指定されたクラスで履修をすること。

注４：「アドバンストオーラルイングリッシュ１」と「アドバンストオーラルイングリッシュ２」は、受講希望者多数の場合には抽選により履修者を決定する。詳細は掲示などにより連絡する。

注５：経済学部を卒業するためには、外国語科目を２０単位以上修得しなければならないが、そのうち１４単位以上は英語科目が含まれていなければならない。

英 語 科 目

〈基幹科目：科目名・概要〉

英語 １L･２L

英語の４技能である「聞く」「話す」「読む」「書く」能力の基礎となる「リスニング能力」を確立する。英語の音とリズムに慣れることを目的とした様々なリスニング訓練を行うとともに、TOEIC リスニング･セクションの得点向上につながる演習を展開する。さらに、TOEIC の出題形式に慣れる問題を含むリスニング小テストを毎時間実施する。２Ｌでは１１月に約１ヵ月間、TOEIC リスニング受験対策指導を行う。

英語 １R･２R

英語の４技能である「聞く」「話す」「読む」「書く」能力の基礎となる「リーディング能力」を確立する。語彙力と文法力を鍛えながら、読解力強化を図るとともに、TOEIC リーディング･セクションの得点向上につながる演習を展開する。さらに、TOEIC の出題形式に慣れる問題を含む語彙力を強化する小テストを毎時間実施する。２Ｒでは１１月に約１ヵ月間、TOEIC リーディング受験対策指導を行う。

英語 ３T･４T

英語 １L･２Lで習得した語学力をさらに向上させ、伝達の手段としての英語力を一層確実なものとすることを目標とする。特にリスニング能力の更なる向上を目指しながら、TOEIC に対応できる能力全般を強化する。英語３ＴではTOEIC に対応できる基礎能力の確立、英語４ＴではTOEIC に対応できる応用的能力の練成を図る。さらに、学年共通の小テストを毎時間実施する。

英語 ３R･４R

英語１R･２Rで習得した語学力をさらに向上させ､伝達の手段としての英語力を一層確実なものとすることを目標とする。特に、語彙力と文法力に更に磨きをかけながら、専門分野に関連する文書の読解能力か、を養う。英語３Ｒではその基礎能力の確立、英語４Ｒではその応用的能力の練成を図る。さらに、語彙力を強化することを目的とした小テストを毎時間実施する。

オーラルイングリッシュ １・２

日常会話に必要な基本語彙を増やし、その用法に習熟させるとともに、さまざまな場面（挨拶、自己紹介、電話、買物、食べ物の注文、道案内、予約、銀行、ホテル、病院、家族の話など）で、ことばの機能（許可、依頼、招待、提案、予定、計画など）を学び、ロール･プレイを作成し演じることにより、基礎的な会話能力の向上を図る。

オーラルイングリッシュ ３・４

身近なトピック（家族、友達、アルバイト、大学生活など）について聞いたり、読んだりしたことを口頭で説明したり、自分の意見や感想を加えて発表したり、簡単なディスカッションを行うことによって、オーラルイングリッシュ１・２より進んだ会話能力を身につける。また、簡単なスピーチ、ディスカッション、ディベートを通してプレゼンテーション能力を向上させ、英語を用いた交渉能力の基礎を身につける。

〈発展科目：科目名・概要〉

自己表現の英作文 １・２

日記、自己紹介、エッセイなど、自己を表現する英文を書くことを通して、発信型の英語コミュニケーション能力を育成する。授業では、語彙力や文法力の確認も行われる。また、上位クラスでは、様々な英文を作成する能力を養成することを目標とし、専門的な分野においても、自分の伝えたいことを正確な英語で表現することができる能力を身につけるべく、徹底した訓練を行う。

総合英語１・２

英語の基本的な文法や構文を中心に、英語の４技能である「聞く」「話す」「読む」「書く」能力を包括的に学び直すことを目標とする。英文の構造の理解を深めることを通して、英語コミュニケーションの基礎的な能力を固める。授業では、身に付けた文法力を活用する英文読解･英作文など様々な演習を行う。

ＴＯＥＩＣ１・２

TOEIC に必要な語彙を強化し、文法事項を確認したうえで、応答問題や会話問題の聞き取り練習を重点的に行うなど、リスニングとリーディングを総合した TOEIC 対策授業を行う。また、各レベルに応じて設定される目標スコアの達成、もしくは 100 点のスコア･アップを目指す。上位クラスでは、550 点以上を目標スコアとし､比較的長いナレーションを正確に聞きとるリスニング能力や､パラグラフの構造を理解し、情報を正確に抽出するリーディング能力の向上を図る。

ニュース英語 １・２

時事英語によく使われる語彙を強化し、テレビやラジオのニュースなどに流れている英語を正確にしっかりと聞き取るリスニング演習と、インターネット、新聞、雑誌などの報道記事の英語を正確に早く読み取るリーディング演習を中心に行うことを通して、ニュース独特の表現に慣れ、内容を正確に理解する能力を養成する。上位クラスでは、いくつかのニューステーマに関するディスカッションなども行う。

カルチャー英語 １・２

旅行関連、映画などのリスニング、エッセイ、小説などのリーディングを中心に演習をし、世界の文化に触れることで異文化に対する理解を深める。更に、日本人との考え方の違い、日本文化との相違点など、様々な文化的話題も豊富に提供する。上位クラスでは、自分の意見をレポートにまとめ、発表したり、ディスカッションしたりすることにより、課題解決能力と高度な英語力を養成する。

スーパー英語（ＴＯＥＩＣ）１・２

リスニング・リーディング能力のさらなる向上を図り、TOEIC 800 点以上取得を目標とする。授業では、TOEIC の問題の中からビジネスシーンに頻出する会話表現を習得し、自然な発音とイントネーションで発話できるように訓練する。また、TOEIC に頻出の主要文法項目、語彙・表現を用いて、Ｅメールやビジネスレター、注文書、広告、グラフなど読解に頻出のジャンルの特徴を学び、それらの書き方も学ぶ。

スーパー英語（ＳＫＩＬＬＳ）１・２

国際社会で英語を自在に扱うことのできるハイレベルな英語運用能力をマスターすることを目標とする。授業では、ビジネスに関連した文章を中心に扱い、「聞く」「話す」「読む」「書く」という英語の４技能を相互に作用させ、総合的に活用することのできる教材を用いた演習を行う。これらの演習を通して、幅広い視野と高い意識を持ち、自律的に英語を学習できる能力を身につけることを目指す。

アドバンストオーラルイングリッシュ１・２

「オーラルイングリッシュ１・２・３・4」で修得した会話能力、ディスカッション能力を駆使して、ビジネスシーンにおいて高度で説得力のある英語を話せる能力を育成することを目標とする。また、専門と連動するビジネス関連の題材を用いて、交渉・議論・プレゼンテーションなどをより効果的に行うための理論と方法を学び、コンピューターその他の視覚資料の作成法や提示法について実践的な訓練を行う。

第二外国語教育の共通基本目標

From		To
中学・高校を通じて英語を勉強したが、英語以外の外国語も今から身につけておきたい。	☞	① 外国人と臆することなくコミュニケーションができる。 ② 国際感覚と広い視野が身につく。

“From ☞ To”を実現する手段としての「近畿大学の第二外国語教育」

―　今しかない、ゼロから始める楽しい第二外国語　―

共通基本目標

１．独仏中韓を基軸とした英語以外の言語も学習し、これらの外国語の学習を通して多元的な世界の見方ができる力を培う。

２．一人一人のレベルに応じて到達目標を設定し、その達成度を確認しつつ段階的に外国語の運用能力を向上させる。

３．多様化する国際社会において相互に尊重し信頼し合う上で必要な知識を習得し、異文化への理解を深め、国際的な感覚を高める。

具体的方策

上記の目標を達成するために以下の具体的方策を実施する。

１．希望する第二外国語を選択し履修できるクラス編成。新しく学ぶ外国語の基本要素が確実に身につく基幹科目。知識を実用レベルにまで高める発展科目。

２．自己評価により現在のレベルを確認し、次の目標を設定して自律的に学習できるシステム。教員によるきめ細かい学習支援。

３．「ことばと文化」「国際化と異文化理解」などの教養講座と語学教育との連携。ことばを通して文化に接し、文化を学ぶことによって国際的視野と深い教養が身につく授業。

４．授業外活動による学生の学習意欲の向上。語学センター講座（検定対策講座を含む)、スピーチコンテストなど学内における交流。留学及び海外研修の支援。

５．学生一人一人の意欲とニーズに応える学習指導体制。教員による学生個人を対象とする学習相談。

６．学部専門教育との連携・橋渡し。各学部の特色を最大限に生かした第二外国語教育。専門教育と多様な外国語をリンクさせる発展科目の整備・充実。

第二外国語について

なぜ大学で第二外国語を学ぶのでしょうか？

あなたは、第二外国語を学びたいと思いますか？ 本学では、多くの学部において第二外国語は必修科目ではなく、選択科目のひとつです。しかし、実際はほとんどの学生が第二外国語を履修しています。みなさんの先輩にその動機を尋ねると、「英語以外の外国語を話せるようになりたい」、「英語の単位だけでは足りないから」といった答えが返ってきます。

どうして大学で第二外国語を学ぶのでしょうか？ 地球規模でのネットワーク化が進行している今日にあって、国際社会におけるコミュニケーション言語として、英語が重要なことは言うまでもありません。しかし一方で、世界は、新たな多文化・多言語社会へと向かっています。中国や韓国をはじめとするアジアの国々との交流だけでなく、ＥＵ諸国との関係も日本にとって重要です。現代の日本を作り上げてきた歴史や文化は、英語圏以外の多様な国々からの影響も受けているのです。第二外国語を学ぶことは、自分の知見や価値観を広げ、またそのことばを母語とする人々について、深く学ぶ機会であり、国際社会において不可欠な教養を得る機会と言えるでしょう。

しかし、一部の学部を除いて、一年次に履修可能な第二外国語の授業は週一回の 90 分しかありません。ただ受動的に授業を聴いているだけでは、流暢に話せるようにはなりません。それでは意味がないと思う人もいるでしょう。しかし、実際に、第二外国語の授業を楽しみにしている人たちがたくさんいるのです。それはなぜか、答えは単純です。第二外国語を学ぶことには「新しいことを知る喜び」があるからです。

そもそも、大学での外国語学習は、流暢に話せるようになることだけを目的としてはいません。話すことはあくまで手段の一つなのです。大学では、そのことばを形成してきた文化的背景や、ことばの構造から日本とは異なる文化を知ることを目的としています。そこに「知る喜び」を感じて、そのことばを積極的に学べば学ぶほど、語学もまた自然と上達していきます。事実、毎年、語学検定試験の高難度の級に合格し、語学力と多様な価値観を身につけて、世界に羽ばたいてゆく先輩も少なくありません。

日本にも外国の方がたくさんいます。かれらが一生懸命日本語で話しかけてくれると、自分たちの文化を認めてもらえたような気がして、うれしくはありませんか？ 多様なことばを知ることは、多様な文化を認め、そこに住む人々と文化的に近づくことでもあるのです。それは旅行や留学、将来の海外赴任にも活かされることでしょう。たとえ流暢でなくとも、さまざまなことばを話そうとする人は多くの友人や思い出を得られるものです。

本学では、多様化する国際社会の要請に応じて、諸外国の言語を学び、その文化に固有の伝統や考え方を理解することを第二外国語教育の最重要目標としています。世界を見渡す視点を日本や英語圏からずらしてみるとまた違った世界が見えてきます。視点は多ければ多いほど、世界は広がりをもつはずです。ことばを学ぶことによって開かれる世界は、無限なのです。

いまこそ、第二外国語を学んでみませんか？

ドイツ語について

「ドイツ語」と聞くと、何だか堅苦しくて難しそう、というイメージを抱く人が多いかもしれません。本当にそうでしょうか。ドイツ語は英語と同じ西ゲルマン語という仲間に属し、英語とかなり近い関係にあるので、単語や文法体系に共通点が多く、しかも発音は英語よりずっと簡単です。語順などもむしろ日本語に似ているところがあり、私たち日本人にとっては特に学びやすい外国語だと言えます。

ではドイツ語はどこで、どのくらい多くの人々が話しているのでしょうか。ドイツ語圏にはドイツ（人口約 8200 万人）を始め、オーストリア（約 800 万人）、スイス（ドイツ語人口は約 500 万人）、そしてリヒテンシュタイン（約 3 万人）が含まれます。この他ルクセンブルクでもドイツ語が公用語のひとつとなっており、またドイツと国境を接する地域や東欧でもドイツ語を話す人たちがおり、世界のドイツ語話者人口はほぼ１億人、ＥＵ（ヨーロッパ連合）の中でドイツ語は最も多く話されている言葉となっています。

さて皆さんは、ドイツ語やドイツ語圏について、何を知っているでしょうか。最近ではゲームを通じてドイツ語やドイツ文化（ゲルマン神話を含む）にふれる機会が増えているようですが、子供の時にグリム童話を読んだという人、モーツァルトやベートーヴェン、あるいはクラフトワークに代表されるテクノ・ミュージシャンの音楽が好きだという人も少なくないでしょう。オーストリアの首都ウィーンで花開いた世紀末の文化は今もなお私たちを惹きつけて離しません。また、環境先進国・福祉先進国として有名なドイツから、日本が多くのことを学んでいることはよく知られています。ドイツと言えばやはりベンツやＢMWに代表されるクルマがあり、一度はアウトバーンを走ってみたいと思っている人、サッカーのブンデスリーガに興味を持っている人もいるでしょう。最近ではドイツ語圏の映画が日本公開される機会も増えました。そうした関心や興味を手がかりにして、ドイツ語の勉強を始めてみましょう。現在はインターネットを使ってドイツ語圏の情報が瞬時に手に入り、英語圏のソースとは異なったものの見方、考え方に触れることもできます。また、ドイツ語圏での旅行や語学研修も簡単に行える時代です。たとえ片言でもドイツ語を使って買い物や現地の人との会話ができたら、旅の楽しみが増し、印象も全然違ったものになるでしょう。ドイツ語を学ぶことを通して、自分の世界を広げていきましょう。

＜辞書と参考書＞

語学を学ぶには辞書が必要です。初級の段階では、なるべく紙の辞書を使うようにしましょう。用例が見やすく、書き込みも容易だからです。参考書は必需品ではありませんが、必要に応じて自主学習に役立てましょう。どちらも先生の説明を聞いて自分に合ったものを選び、早く使い慣れてください。

おすすめ辞書　『クラウン独和辞典』（三省堂）　『新アクセス独和辞典』（三修社）
『新アポロン独和辞典』（同学社）　『エクセル独和辞典』（郁文堂）他
おすすめ参考書　『ドイツ語のしくみ（ＣＤつき）』（白水社）他

フランス語について

フランスというと、皆さんは何を思い浮かべますか？　フランス料理やワインなど、グルメの国。スイーツ大国。最近ではミシュランガイドの名前がテレビで聞かれることも多くなりました。また世界のファッションをリードする国でもあります。スポーツでも、サッカーや柔道やフィギュアスケートなどさまざまな種目で、フランス語圏の選手たちがめざましい活躍をしていますね。それにロワールの古城やモン・サン・ミシェルに代表される数多くの世界遺産を有する国でもあります。でもそれだけではなく、フランスはヨーロッパで一番のマンガ大国という意外な一面も持っているのです！　そんな多様で豊かな文化への入口として「フランス語」を勉強してみませんか？

フランス語は英語と同じアルファベットを使い、英語と共通する単語も多いので、とても簡単に学ぶことができます。しかも国連やオリンピックでも英語と並んで使われる「第二の国際語」です。それにフランス語はフランス本国だけでなく、ヨーロッパのベルギーやスイス、アフリカ諸国、カナダのケベック州やアメリカの一部、中南米諸国やアジア、オセアニア、中東など、世界中で広く使われています。世界でフランス語を話す人は、何とフランスの人口の４倍もいるのです！　世界で２億６千万人が話している言語、それがフランス語です。

グローバル化がしきりに言われる現代にあって、国際言語としてのフランス語の重要性はいっそう高まっています。フランス語を知ることによって、日本やアメリカとは違った視点から世界を眺めることができるようになるでしょう。英語だけではなく、さらにフランス語の知識を身につけることは、皆さんにとっても貴重な知的財産の一つとなるはずです。また検定試験に挑戦したい、留学したい、フランス語圏の国々に旅行に行きたいという人も積極的にサポートします。フランス語は明晰さと論理性に富む言語であると言われますが、フランス語の学習が論理的な思考力の育成と、新しい視点からの異文化理解に役立つことを願っています。さあ、一緒に楽しくフランス語を学びましょう！

〈辞書と参考書〉

辞書　外国語を勉強する上で一番基本となる参考書は、何と言っても辞書に他なりません。最初からいきなり語彙数の多い大型辞書を買うよりも、次に挙げるような「学習仏和辞典」で勉強を始めるのがいいでしょう。

「ディコ仏和辞典」（白水社）　「プチ・ロワイヤル仏和辞典」（旺文社）

「クラウン仏和辞典」（三省堂）　など

参考書　講義の中でも文法は分かりやすく詳しく説明しますが、自分で分からないところを確認し、知識をさらに深めるのには、次のような文法参考書をおすすめします。

「新・リュミエール　フランス文法参考書」（駿河台出版社）

「大学で始めるフランス語」（駿河台出版社）　など

中国語について

「中国」と聞いてみなさんはどんなことを連想しますか？　反日デモ、尖閣諸島をめぐる問題、PM2.5……。最近の中国をめぐる報道を見て、中国に対してよいイメージを持っていない人もいることでしょう。中国は広大な国土を抱え、13 億を超えるさまざまな人々が暮らしています。中国人 13 億人すべてが「反日」？　そんなことはないはずです。

中国は、改革開放以来、急速な経済発展を遂げてきました。今や日本にとって最大の貿易相手国であり、生産地としても市場としても、日本経済の重要な鍵を握っています。また、日中の距離は、飛行機でわずか 2 時間程度。人々の交流も活発で、ビジネスや観光での往来はいっそう増すでしょう。みなさんもアルバイト先などで中国の人と会う機会も多いのではないでしょうか。

日本と中国、お互いの理解を深めるために私たちができることは何でしょう？　その答えの一つは、「中国語」を学ぶことです。広大な中国には、お互いの意思疎通が不可能なほど多様な方言が存在しますが、私たちが学ぶ中国語は、「普通話」と呼ばれる標準語であり、中国全土だけでなく、台湾や香港、シンガポール、世界中にあるチャイナタウンでも使える、中華圏の共通語です。また、日本は中国と同じく、漢字文化圏に属します。中国では「簡体字」という簡略化された漢字、台湾や香港では「繁体字」という旧来の漢字を用いていますが、いずれにせよ漢字。日本人は中国語を学ぶのに極めて有利です。漢字に助けられつつ、中国語を学べば、広い中華圏への扉を開くことができるのです。

百聞は一見にしかず、在学中にぜひ一度、中国や台湾へ、旅行や留学をしてみてはいかがでしょうか。本学では、短期語学研修（台湾３週間、北京４週間）を提供しています。研修に参加し、異なる文化や価値観に触れることで、大きな刺激を得られることでしょう。

また、実用的な中国語を資格として身に付け、就職活動に備えるのもいいでしょう。本学のカリキュラムは、「中国語検定試験」にも対応して構成されています。語学センター（11 月ホール 2 階）では、会話や検定対策など、無料で豊富な講座を提供しています。

日中両国の関係がぎくしゃくしている時代だからこそ、確かで豊かな知識と広い視野を備えた国際人が求められています。今こそ、中国語を学びませんか？

＜辞書と参考書＞

辞書　旅行や留学へ持参し、コミュニケーションツールとして活用することを考えると、最初は携帯用で、日中と併せて一冊のものを購入するのがいいでしょう。

『デイリーコンサイス中日・日中辞典』（三省堂）

『ポケットプログレッシブ中日・日中辞典』（小学館）

『中日辞典　第二版』（小学館）　『中日辞典　第三版』（講談社）

『東方中国語辞典』（東方書店）　『中国語辞典』（白水社）

参考書　授業と並行して、気軽な入門書を読んでみてはいかが。

『はじめての中国語』（講談社現代新書）　『中国語はじめの一歩』（ちくま新書）

『中国語文法・完成マニュアル』（白帝社）　『よくわかる中国語文法』（白帝社）

韓国語について

日本に最も近い隣の地域、朝鮮半島で話されている韓国語（朝鮮語）は、日本語と非常に似通ったことばとして知られています。例えばどんなところが似ているか？まずは語順が似ています。「昨日本屋で買った本、すごくおもしろかったよ」という文も、単語をそれぞれ置き換えていくだけでできあがってしまいます。他には漢字由来の語を使う、という点も似ています。例を挙げれば、「新聞」「高速道路」といった語も韓国語で同じように用いられます。発音はそれぞれ「シンムン」「コソクトロ」となりますが、「しんぶん」と「シンムン」、「こうそくどうろ」と「コソクトロ」、何となく音も似ています。類似は他にもいろいろありますが、日本語をよく知っている皆さんにとって、どれも勉強しやすいことばだと感じることができます。

しかし、異なることばですから当然違いもあります。まず使われる文字が違います。韓国語で使われる文字「ハングル」は、15 世紀に作り出されたものです。今でもその使用説明書が残っているという、世界でも珍しい文字です。初めて韓国語を学ぶ皆さんは、まずこのハングルを学ぶことからスタートします。ハングルさえ読み書きできるようになれば、後は韓国語のすばらしい世界が広がっていきます。ぜひ頑張りましょう。

日本と朝鮮半島との交流は先史時代から続いているといわれますが、21 世紀を迎えてさらに活発になってきました。今では、週末を利用して韓国へちょっと旅行に、ということが簡単にできるようになっています。最近ではテレビや映画でも韓国語に触れる機会が増えています。学んだ内容をすぐに実践できる、というのも韓国語学習の楽しみの一つといえるでしょう。また本学では、2005 年より韓国・ソウルにある慶熙（キョンヒ）大学と交流協定を結んでおり、夏休みを利用しての語学研修プログラム、学部への交換留学プログラムなどを通じて、皆さんの韓国語学習をサポートしています。

最も近い隣の地域、朝鮮半島のことばを足がかりに、広くアジア、世界へと目を向けてみましょう。そしてそれは、自らのことば、文化を再認識することにつながります。まずは韓国語から、その一歩を踏み出してみませんか。

＜辞書と参考文献＞

辞書：辞書等が必要な場合には講義で指示しますが、以下のようなものがあります。

『朝鮮語辞典』（小学館）、『コスモス朝和辞典』（白水社）、『韓日辞典』（三修社）など

参考書：参考書についても、講義内で適宜指示します。

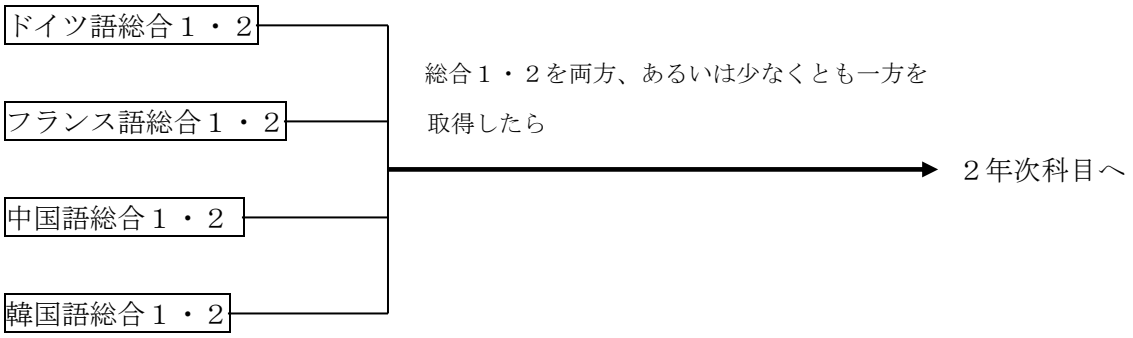
第二外国語科目一覧

科　目　名	配当学年	単位	学期	備　考	
ドイツ語総合１	1	1	前	日本人またはネイティブ教員担当科目	基幹科目
ドイツ語総合２	1	1	後		
フランス語総合１	1	1	前		
フランス語総合２	1	1	後		
中国語総合１	1	1	前		
中国語総合２	1	1	後		
韓国語総合１	1	1	前		
韓国語総合２	1	1	後		
ドイツ語総合３	2	1	前	日本人またはネイティブ教員担当科目	
ドイツ語総合４	2	1	後		
フランス語総合３	2	1	前		
フランス語総合４	2	1	後		
中国語総合３	2	1	前		
中国語総合４	2	1	後		
韓国語総合３	2	1	前		
韓国語総合４	2	1	後		
ドイツ語コミュニケーション１	2－4	1	前	ネイティブまたは日本人教員担当科目	発展科目
ドイツ語コミュニケーション２	2－4	1	後		
フランス語コミュニケーション１	2－4	1	前		
フランス語コミュニケーション２	2－4	1	後		
中国語コミュニケーション１	2－4	1	前		
中国語コミュニケーション２	2－4	1	後		
韓国語コミュニケーション１	2－4	1	前		
韓国語コミュニケーション２	2－4	1	後		
ドイツ語カルチャーセミナーA	3－4	1	前	日本人またはネイティブ教員担当科目	
ドイツ語カルチャーセミナーB	3－4	1	後		
フランス語カルチャーセミナーA	3－4	1	前		
フランス語カルチャーセミナーB	3－4	1	後		
中国語カルチャーセミナーA	3－4	1	前		
中国語カルチャーセミナーB	3－4	1	後		

韓国語カルチャーセミナーA 韓国語カルチャーセミナーB	3－4 3－4	1 1	前 後		
ドイツ語コミュニケーション３ ドイツ語コミュニケーション４	3－4 3－4	1 1	前 後	ネイティブまたは日本人教員担当科目	発展科目
フランス語コミュニケーション３ フランス語コミュニケーション４	3－4 3－4	1 1	前 後		
中国語コミュニケーション３ 中国語コミュニケーション４	3－4 3－4	1 1	前 後		
韓国語コミュニケーション３ 韓国語コミュニケーション４	3－4 3－4	1 1	前 後		

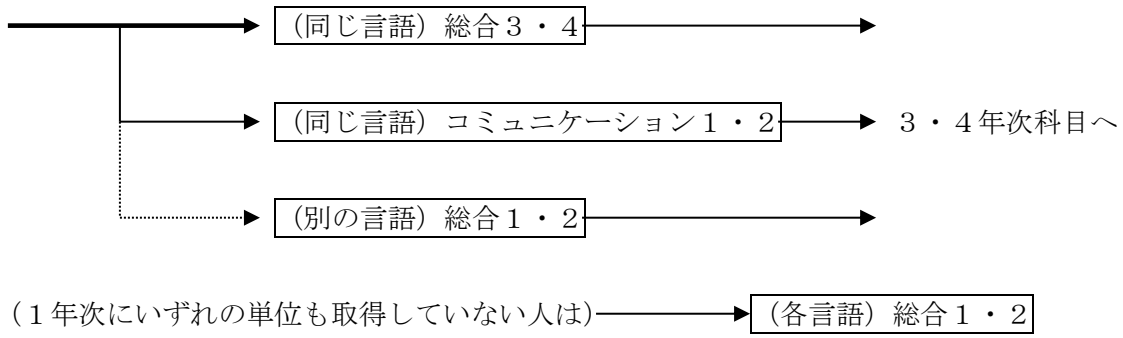
第二外国語履修フローチャート

1年次



・「総合１」は前期科目、「総合２」は後期科目。同一言語を１・２継続して履修登録すること。

2年次



・１と３は前期科目、２と４は後期科目。１・２および３・４は継続して履修登録すること。
・「総合１・２」と「総合３・４」は基幹科目。「コミュニケーション１・２」は発展科目。
・「総合３・４」と「コミュニケーション１・２」は並行して履修することができる。
これらの科目は必ず１年次と同じ言語で履修すること。

3･4年次

総合３・４の両方、あるいは少なくとも一方を取得したら

（総合３・４）→ （同じ言語）カルチャーセミナーＡ・Ｂ

総合３・４、コミュニケーション１・２の４科目のうち
少なくとも２科目を取得したら

（コミュニケーション１・２）→ （同じ言語）コミュニケーション３・４

（総合１・２）→ （同じ言語）総合３・４ etc.

（１・２年次にいずれの単位も取得していない人は）→ （各言語）総合１・２

・「カルチャーセミナーＡ」は前期科目、「同Ｂ」は後期科目。Ａ・Ｂは同一言語を継続して履修登録すること。
・これらの科目は必ず２年次と同じ言語で履修すること。

第二外国語履修のガイドライン

＊履修希望者は、下記の履修条件を満たしている者に限る。

科目名		履修条件
ドイツ語 フランス語 中国語 韓国語	総合１・２	同一言語を１・２継続して履修登録すること 履修する言語において、「総合１」を履修せずに、それぞれの「総合２」を履修することはできない
ドイツ語 フランス語 中国語 韓国語	総合３・４	同一言語を３・４継続して履修登録すること 前年までに同一言語の総合１・２のうち、少なくとも一方の単位を取得していることを条件とする
ドイツ語 フランス語 中国語 韓国語	コミュニケーション１・２	同一言語を１・２継続して履修登録すること 前年までに同一言語の総合１・２のうち、少なくとも一方の単位を取得していることを条件とする
ドイツ語 フランス語 中国語 韓国語	カルチャーセミナーA・B	同一言語をA・B継続して履修登録すること 前年までに同一言語の総合３・４のうち、少なくとも一方の単位を取得していることを条件とする
ドイツ語 フランス語 中国語 韓国語	コミュニケーション３・４	同一言語を３・４継続して履修登録すること 前年までに同一言語の総合３・４、コミュニケーション１・２のうち、少なくとも２科目の単位を取得していることを条件とする（組み合わせは問わない）

第二外国語科目＜科目名・概要＞

＜ドイツ語・フランス語・中国語・韓国語　総合１・２＞

（1 年次選択科目［2 年次再履修クラスも設ける］、１は前期、２は後期）（基幹科目）（同一言語を１・２継続して履修する）

新しい外国語に慣れ親しみ、初歩的なコミュニケーションが図れるようにする。文字、発音、基本語彙と表現、文構造など、聞き、話し、読み、書くというバランスの取れた言語運用に不可欠な基礎的知識を習得する。週１回の授業。

＜ドイツ語・フランス語・中国語・韓国語　総合３・４＞

（２年次選択科目、３は前期、４は後期）（基幹科目）（総合１あるいは２いずれか１科目修得を先修条件とする）

総合１・２で学んだ知識をもとに、その言語のさらにスムーズな運用ができるようにする。比較的長い表現を聞き取って、自分でも言えるように練習する。平易な文章を読みこなし、手紙や簡単な文章を書ける能力も養う。週１回の授業。

＜ドイツ語・フランス語・中国語・韓国語　コミュニケーション１・２＞

（２年次選択科目、１は前期、２は後期）（発展科目）（総合１あるいは２いずれか１科目修得を先修条件とする）

「話す」と「聞く」という二つの側面に重点を置く。外国旅行でよく出会う場面や日常生活によくある場面などを用いて、情報を聞き取り、自分を表現する方法を練習する。週１回の授業。

＜ドイツ語・フランス語・中国語・韓国語 カルチャーセミナー A・B＞

（３年次選択科目、A は前期、B は後期）（発展科目）
（総合３あるいは４いずれか１科目修得を先修条件とする）

これまでに学んできたさまざまな知識を運用して、より長い文章の解読ができるようにする。さらに各言語圏の文化に対する理解を深めるために、新聞や雑誌など各国の現代文化に関する多彩な教材を用いて、最新情報や知識を吸収できるレベルを目標にする。週１回の授業。

＜ドイツ語・フランス語・中国語・韓国語　コミュニケーション３・４＞

（３年次選択科目、３は前期、４は後期）（発展科目）（総合３・４、コミュニケーション１・２の４科目のうちいずれか２科目修得を先修条件とする）

主に日常会話中心に口頭による言語運用能力の基礎を完成させる。より詳細な表現を聞き取って、自分でも正確に言えるように口頭練習し、様々な場面でさらに詳しい情報交換ができるようにする。週１回の授業で、ネイティブ講師が担当する。

近畿大学の「生涯スポーツ１・２」について

本学にて開講される共通教養科目（スポーツ・表現活動科目群）のうち、「生涯スポーツ１」と「生涯スポーツ２」の概要を示します。以下をよく読み、履修してください。なお関連科目として、一部の学部で「健康とスポーツの科学」「心と体の健康」が開講されています。シラバスを参照してください。

「生涯スポーツ１」「生涯スポーツ２」（実習科目：１単位）

１．教育のねらいと成績評価

1.1　教育目的

【 人間力を磨き、心身の健康増進を図る KINDAI 生涯スポーツ 】

近畿大学の「生涯スポーツ１・２」は、本学が掲げる「人に愛される人、信頼される人、尊敬される人の育成」という教育理念を実現するため、その基礎となる身体を基盤とした多様なスポーツ・運動への高度な取り組みを通して、人間力 a)を磨くとともに、生活習慣病の予防や心身の健康 b)の維持・増進に関する確かな科学的・専門的な知識と技能を獲得することを目的とする。このような「生涯スポーツ」での学びを通じ、現代社会が直面する諸問題の解決に貢献できる人材、持続的な幸福感 c)を増大できる人材を育成する。

■キーワードの解説

a）人間力

自らを律しつつ（意欲、忍耐力、成功を追及する力等の自己制御的要素）、他者とともに協調しながら、他者を思いやる心や振る舞い（コミュニケーションスキル、リーダーシップ等の社会・対人関係力的要素）や感動する心や専門的知識等を有することなどを言います。

b）心身の健康

目標を持ちいきいきと生きている状態を指し、心の健康状態を含めた健康を言います。

c）持続的な幸福感

以下の５つの側面【 ①「ポジティブ感情（幸福感や人生の満足感等の気持ちの良さ）」②「物事への積極的関わり（没我）」③「関係性（他者との良い関係）」④「人生の意味・意義（価値、有益性）」⑤「達成感（成功）」 】を言います。いずれもスポーツ・運動との関わりが強いと考えられます。これらを持続的幸福とも言います。

■教育目的の解説

「生涯スポーツ」の学びについて

本科目は、近畿大学の教育の目的を達成するための基礎に位置づけられます。とくに本科目は、人間力を磨くことおよび健康の維持・増進に関する確かな科学的知識と技能を獲得することを目的としています。「生涯スポーツ」の学びを通じ、様々な状況で必要となる問題解決能力（他者のために役立つ力）が培われ、加えて持続的な幸福感（ずっと続く豊かな幸せ）を獲得するための知識や技能（自己を支えるために役立つ力）が養成されます。

「生涯スポーツ」の授業内容について

本科目の授業内容は、身体を基盤とした多様なスポーツ・運動の実践であるため様々な重要な価値があります。また、高等学校での保健体育授業を発展した学びであることから、高度な取り組みと捉えられます。

1.2　教育目標

【 KINDAI 生涯スポーツの４つの教育目標 】

1）スポーツや健康・体力に関する科学的理解

実践するスポーツや運動に関する科学的理解および生活習慣の予防や心身の健康の維持・増進に関わる健康関連体力について科学的に理解する能力を身に付けます。

2）運動技能の習得

自らの運動技能や運動技能を向上させる方法を把握しながら、楽しく生涯にわたり取り組みを続けられるスポーツスキル、運動能力を身に付けます。

3）仲間との協同的・支援的な関わりの強化

さまざまな考えを持つ仲間の存在を認識し、仲間と共に協同的・支援的にスポーツや運動を実践できる能力を身に付けます。

4）自律的実践力の向上

運動技能を向上させるための挑戦的目標を設定し、困難な課題や状況に耐えながら、自律的、意欲的に乗り越えようとする能力を身に付けます。

1.3　学修形態・内容

1）学修形態

上記の教育目的および教育目標を達成するため、「生涯スポーツ１」（春セメスター開講）では、基礎・応用的な学びに重点が置かれ、また「生涯スポーツ２」（秋セメスター開講）は応用・発展的な学びに重点が置かれ授業が展開されます。

2）学修内容

「生涯スポーツ１・２」は、一つの時限に複数の担当者が、それぞれ異なったスポーツ・運動種目により授業を展開します。スポーツ種目とその学修内容については、各担当教員のシラバスを参照してください。

また、「生涯スポーツ１・２」とも、授業時に２回または３回にわたってフィットネスチェックを実施します。フィットネスチェックとは、各自の健康状態に関わる心身状態（日常生活における心身の健康に関わるチェック、形態・体格）、体力・運動能力の測定です。フィットネスチェックでの測定結果は、受講生により入力と出力がなされ、測定結果を参照しレポートを作成します。

（注）教員免許状の取得を希望する場合、「生涯スポーツ１」「生涯スポーツ２」は必修科目です。

1.4　成績評価

成績評価は、前述の教育目標に対応する以下の４つの評価観点（各 25 点、計 100 点）の到達度によって行われます。

・スポーツや健康・体力に関する科学的理解度
・運動技能の習得度
・仲間との協同的・支援的な関わり度
・自律的実践度

２．履修方法について

2.1　履修登録手続き

1）クラス分け（第１回目授業にて）

（1）受講生の各種目によるクラス分けは、記念会館において、「生涯スポーツ１」は４月の第１回目の授業、「生涯スポーツ２」は９月の第１回目の授業にて行います。

（2）受講希望者は、記念会館（奈良キャンパスは 203 教室）に集合すること。事前に「生涯スポーツ１・２」のシラバスを大学ホームページ（https://www.kindai.ac.jp/campus-life/guide/lifelong-sport/curriculum/#sp1）より参照の上、各担当教員の説明を聞き、第１希望から第３希望までの希望するクラスを決定しておきます。

（3）各クラスには、円滑な授業運営と安全確保のために定員（20～40 名）を設けています。

（4）各クラスにおいて希望者が多数の場合は各担当教員が抽選等を行います。

2）受講許可証の発行

（1）受講クラス決定後、受講許可証を発行します。

（2）受講許可証は大切に保管してください。

（3）受講許可証をもとに各自で履修登録（web 登録）を行います。曜日・時限・担当教員名を確認し、登録ミスがないよう細心の注意を払ってください。

（4）**受講の許可なく履修登録をした学生の受講は認められません。**

3）クラス分け（第１回目授業にて）を欠席した場合

（1）諸事情により第１回目授業を欠席した学生は、履修相談窓口にて受け付けます。受講クラスは、定員に達していないクラスからの選択になります。

（2）東大阪キャンパスの履修相談窓口は、以下の日程および場所で行います。奈良キャンパスは別途 UNIVERSAL PASSPORT（近大 UNIPA）および掲示板にて周知します。

期　日：授業開始日の翌日から履修登録期間最終日（ただし、土日祝は除く）
時　間：午前 11 時～午後５時（水曜日は午後３時まで）
場　所：生涯スポーツ担当教員控室

（注）　履修相談窓口の日程は変更することがあります。UNIVERSAL PASSPORT（近大 UNIPA）および掲示板を確認してください。

（注）　履修相談窓口にて、受講クラスを決定し、受講許可証受領後、各自で履修登録（web 登録）を行うこと。

（3）履修登録を間違えた場合、履修登録期間内に各自、修正してください。

（4）決定した受講クラスの変更は、特別な理由がない限り認められません。

（5）**上記(1)～(4)の手続きを怠ると、各自で web 登録を行っても「受講許可証」は発行されないので、受講は認められません。**

2.2　履修にあたっての注意

1）授業場所は、大学 HP 内の「時間割一覧およびシラバス」に記載しています。雨天など天候変化、グラウンド状態不良等の理由により、授業場所を変更することがあります。授業場所変更については、授業前に、生涯スポーツ用の掲示板、記念会館ロビーの掲示板（奈良キャンパスは各学科の掲示板）に掲示されますので、事前に確認をしてください。

2）実技・実習等の服装はトレーニングウエア及び運動靴を使用すること。授業に適した服装でない場合、原則として見学とします。眼鏡、時計、指輪、携帯電話など、破損しやすい物は、危険防止の見地からも、授業中できる限り携帯しないでください。万一破損があっても保障することはできません。外傷などの身体的事故についての注意、万一の場合の処置については「履修上の安全対策」の項を熟読すること。

3) 屋内での授業には、必ず館内シューズを持参すること（KEEP で使用する館内シューズは担当教員の指示に従う)。また、グラウンド、テニスコートおよび人工芝グラウンドでは担当教員が認めた運動靴を使用してください。
4) 各クラスの更衣場所については、担当教員の指示に従ってください。
5) 授業に関する不明点は、生涯スポーツ担当教員控室（奈良キャンパスは担当教員）に問い合わせてください。
6) 貴重品の管理は、各担当教員の指示に従ってください。
7) 実技科目である特性上、欠席日数が４回以上もしくは、それに相応する遅刻等がある場合は「不可」とします。
8) 再試験は、原則、実施しない。ただし、事情等を勘案し実施する場合、対象となるのは、欠席回数が４回未満の者とします。

2.3 履修上の安全対策

実習科目における安全管理は、日常生活の自己管理からです。自己管理されたリズムある日常生活は、最優先されるべき実技・実習上の安全対策です。

しかし、実習中には、避けることのできない不可効力的な事故も発生します。多くのケースは、もう少し注意しておけば、あるいはもう少し準備・配慮しておけばといったことがしばしば見受けられます。不摂生な生活、睡眠不足などによる注意不足・散漫などが起因である場合が多いです。事故は、自分だけでなく他の受講生に対しても多大な迷惑をかけることになります。

日常生活の中での自己管理も踏まえ、実習の際に以下の事に注意してください。

1) 自己管理について

(1) 暴飲、暴食をしない　(2) 十分な睡眠を取る
(3) 朝食を摂る　(4) 規則正しい生活を送る

2) 用具について

(1) 使用用具の取り扱いは、担当教員の指示に従うこと
(2) 各種目の用具の特殊性を熟知し、慎重に取り扱うこと

3) 活動中について

(1) 担当教員の指導上の注意、助言を厳守すること
(2) 各種目のルール、マナーを厳守すること
(3) 感情的にならないこと
(4) 心身の不調をきたした場合、すぐに担当教員に申し出ること

4) 事故の処置について

実習中に万一外傷、その他授業が継続できないような事故が発生した場合、以下のような要領で処置をします。

(1) 事故発生時
担当教員に申し出て指示を受けること。原則として次のように処置をします。東大阪キャンパスではメディカルサポートセンター（11 月ホール３階)、奈良キャンパスでは医務室で処置を受ける。
(2) 学外の医療機関で治療した場合
学生部学生課に届け出ること。その際、大学で扱う医療費給付制度等を確認すること。

参考：近畿大学学園学生健保共済会ホームページ(http://www.kindai-wellness.jp/)
近畿大学学園学生健保共済会発行「WELLNESS ガイドブック」

３．履修にあたってのよくある Q&A

「生涯スポーツ１・２」の履修時に、様々な質問が寄せられます。以下の‘履修にあたってのよくある Q&A’を参考のうえ、履修してください。

＜履修手続きについて＞

Q :「生涯スポーツ１」を履修していませんが、「生涯スポーツ２」を履修できますか？
A :「生涯スポーツ２」だけでも、問題なく履修することができます。

Q : 1 回目の授業はガイダンスとクラス分けですが、どの曜日・時限でも受講できますか？
A : 所属する学科の時間割以外の曜日・時限では履修できません。自分の所属する学科の配当された時間割の中から受講希望の曜日・時限を必ず決めてください。

＜授業について＞

Q : 当日の朝、晴れるか雨になるか、天気がはっきりしない場合、どうしたら良いですか？
A : 朝は晴れていても、その後、降雨や降雪等となることもあります。このような場合は、晴天時と雨天時の両方の用意をしてください。

Q : スポーツウェアやスポーツシューズを忘れた場合、どうしたら良いですか？
A : スポーツウェアを着用しない運動は危険が伴い、衛生面からも問題があります。そのため、スポーツウェアやスポーツシューズを忘れた場合、原則として見学とします。授業前に担当教員に申し出てください。

Q : 授業を一緒に受ける友だちがいません。授業中の活動に支障がありますか？
A : 複数の学部学科の学生と一緒に授業を受けます。新たな友だちと一緒に活動することも授業のメリットの１つです（他にもメリットは多くあります）。奈良キャンパスでは単一学科での開講です。

Q : ラケットやグローブ等のスポーツ用具を持っていない場合、どうしたら良いですか？
A : 必要なスポーツ用具は大学に備え、授業で使用できますので、安心して履修してください。

＜成績評価について＞

Q : 何回の欠席で単位を取ることができなくなりますか？
A : ４回以上の授業を欠席すると単位認定はできません。

Q : スポーツ経験が無い場合は、単位の取得が難しいですか？
A : 未経験者であっても単位の取得は可能です。２ページに掲載の教育目標と成績評価の箇所を参照してください。

Q : 卓球の全国大会に出場した経験があります。秀評価（90 点以上）をもらえますか？
A : 運動技能の習得状況のみで秀評価にはなりません。成績評価は、４つの評価観点に則って行います。２ページに掲載の教育目標と成績評価の箇所を参照してください。